

令和 3・4 年度 複合構造委員会 第 7 回幹事会 議事録

日 時：2022 年（令和 4 年）5 月 18 日（水）14:00～17:00

場 所：土木学会 A 会議室 + Zoom

出席者：松本委員長，牧副委員長，齋藤（隆）幹事長，大久保幹事，大田幹事，川端幹事，
北根幹事，斉藤（成）幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，
仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事，岡崎事務局
小委員会説明のみ：大垣委員，瀧本委員

配布資料：

- 幹 7-0 令和 3・4 年度複合構造委員会第 7 回幹事会議事次第（案）
- 幹 7-1 令和 3・4 年度複合構造委員会第 6 回幹事会議事録（案）
- 幹 7-2 令和 3・4 年度複合構造委員会幹事会名簿・業務分担
- 幹 7-3 令和 3・4 年度複合構造委員会組織図
- 幹 7-4 令和 3・4 年度複合構造委員会小委員会作業分担
- 幹 7-5 令和 3・4 年度複合構造委員会スケジュール
- 幹 7-6 令和 3 年度委員会決算
- 幹 7-7 令和 4 年度委員会予算（案）
- 幹 7-8 令和 3 年度委員会活動個別調査書（複合構造委員会）
- 幹 7-9 第 77 回全国大会プログラムについて
- 幹 7-10 第 77 回全国大会研究討論会企画について
- 幹 7-11-1 第 9 回 FRP シンポジウムの開催について
- 幹 7-11-2 第 9 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム 講演原稿募集
- 幹 7-12 土木学会論文集 A1 特集号
- 幹 7-13 複合構造の継続教育
- 幹 7-14 出版関連報告
- 幹 7-15 複合構造委員会小委員会一覧
- 幹 7-16 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹 7-17 H108 土木構造物の 300 年暴露プロジェクト小委員会
- 幹 7-18 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹 7-19 H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹 7-20 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹 7-21-1 新規小委員会の設置に関して
- 幹 7-21-2 「複合構造技術の発展に関する調査小委員会（仮称）」設立趣意書
- 幹 7-21-3 「樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会」設立趣意書
- 幹 7-22 令和 3・4 年度複合構造委員会第 3 回委員会議事次第（案）
- 幹 7-23 複合構造委員会の規則・運営細則について
- 幹 7-24-1 共通示方書改訂案に対する意見（複合構造委員会）
- 幹 7-24-2 共通示方書改訂案に対する意見 別紙（複合構造委員会）
- 幹 7-25 橋梁調査会 R4 年度「橋梁技術に関する研究開発助成」の募集
- 幹 7-26-1 H216 構造検査性能評価研究小委員会

議事内容：

1. 委員長挨拶

松本委員長より開会の挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第 6 回幹事会議事録（案）確認（資料 幹 7-1）

北根幹事より、第 6 回幹事会議事録（案）の説明がなされ、修正なしで承認された。

3. 令和 4 年度複合構造委員会スケジュール確認（資料 幹 7-5）

齋藤幹事長より、資料に基づき、令和 4 年度複合構造委員会スケジュールの説明がなされた。

- ・第 4 回複合構造委員会は 1/19(木)となった。
- ・第 9 回幹事会は予定どおり 9/14(水)とする（会場は京都大学吉田キャンパス）。北根幹事は京都国際会館で開催される行事対応により幹事会は欠席となるため、会場準備や Web 会議用機器の手配は学生に対応いただく予定。土木学会全国大会がオンライン開催のみとなった場合は、日時や場所を再調整する。

4. 令和 3 年度委員会決算と令和 4 年度予算（案）（資料 幹 7-6, 幹 7-7）

齋藤幹事長より、資料に基づき、令和 3 年度委員会決算と令和 4 年度予算（案）の説明がなされた。

- ・令和 3 年度委員会予算執行は半分程度であった。コロナ禍により各小委員会の活動が困難であったことが考えられる。
- ・令和 4 年度予算（案）は現時点で調査研究拡充支援金が確定していない。
- ・複合構造物の構造検査研究小委員会(H216)は、講習会開催で終了のため予算配分から削除する。
- ・土木構造物の 300 年暴露プロジェクト小委員会(H108)は、暴露試験用架台の製作等で費用が発生する可能性がある。その場合、予備費から支出することが確認された。
- ・シンポジウム小委員会(H001)で開催予定の第 9 回 FRP シンポジウムでは、外部講師の方に交通費と謝礼の支出予定があるが、委員会予算ではなく行事費から支出することが確認された。
- ・土木学会論文集特集号編集小委員会(H005)の適用欄に、J-STAGE 掲載費用（約 10 万円）が含まれていることを追記する。

5. 令和 3 年度委員会活動評価について（資料 幹 7-8）

齋藤幹事長より、資料に基づき、令和 3 年度委員会活動評価の報告がなされた。事務局より、委員会活動度個別調査書の確認依頼があった。評価結果は本日届き、調査研究費は 80.3 万円となった。

6. 新規小委員会の設置に関して（資料 幹 7-21-1）

齋藤幹事長より、資料に基づき、新規小委員会設置の経緯等について説明がなされた。今年度立ち上げ候補の委員会は 2 件で、本日、設立趣意書を説明いただく。

(1) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（仮称）（資料 幹 7-21-2）

牧副委員長（小委員会委員長予定）より、資料に基づき、設立趣意書の説明がなされた。

- ・第一種委員会として設立することが確認され、次回複合構造委員会で審議する。
- ・委員全員の指名は間に合わないため、委員構成は幹事会で検討・承認後、メール審議とする。
- ・幹事長は未定で、次回複合構造委員会までには決定したい。

(2) H221 樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会（資料 幹 7-21-3）

大垣委員（小委員会委員長予定）より、資料に基づき、設立趣意書の説明がなされた。

- ・第二種委員会として設立することが確認され、次回複合構造委員会で審議する。
- ・H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会の委員と重複することが懸念されるが、委員は公募であるので問題はない。
- ・公募は委員会承認後となり、学会誌掲載は2カ月程度要するため、活動開始は秋頃になると思われる。
- ・活動期間は規則に従い2年間とする。必要に応じて期間延長を申請する。
- ・H109 も FRP を対象とするので、情報共有を図っていく。

7. 令和4年度複合構造委員会体制確認（資料 幹 7-2, 幹 7-3, 幹 7-4）

齋藤幹事長より、資料に基づき、複合構造委員会の体制確認がなされた。修正事項等があれば連絡のこと。

8. 令和4年度第77回全国大会・プログラム（資料 幹 7-9）

皆田幹事より、資料に基づき、全国大会・プログラムについて報告がなされた。複合構造は41編の投稿があり、9/15(木)に5セッション、9/16(金)に1セッション開催される。対面開催が中止となった場合の宿泊キャンセル等のリスクを回避するため、座長はできるだけ関西在住の方に依頼する方針で行われ、複合構造は6名全員関西在住の方に了解いただいた。

9. 令和4年度第77回全国大会・研究討論会（資料 幹 7-10）

大久保幹事より、資料に基づき、全国大会・研究討論会企画について報告がなされた。「300年間の超長期暴露への期待と高耐久性な構造物を考える」というタイトルで、9/12(木)10:00～12:00のチャンネル②（オンライン）で配信される。5月までに話題提供者を選定し、8月収録をする予定。

10. 第9回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（資料 幹 7-11-1, 幹 7-11-2）

仁平幹事より、資料に基づき、FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウムの準備状況について報告がなされた。開催は土木学会講堂とオンラインの併用を予定している。概要申込締切日を5/27(金)としているが、現時点で投稿がない。投稿数が少ないようであれば締切日を延長することも考えている。FRP委員会の関係者には原稿募集の周知をお願いしたい。

11. 土木学会論文集 A1 特集号（資料 幹 7-12）

櫻庭幹事より、資料に基づき、土木学会論文集 A1 特集号の進捗状況について報告がなされた。

12. 複合構造の継続教育（資料 幹 7-13）

大久保幹事より、資料に基づき、複合構造の継続教育について報告がなされた。聴講者参加型の講義

形式セミナーを 11/28(月)に開催する予定で、初めての試みで会場のみ参加募集で考えている。

- ・講義時間の配分は調整可能である。
- ・講義資料を事前にホームページ等に掲載する予定はない。
- ・参加者にアンケートをとることも考える。

13. 出版関係報告（資料 幹 7-14）

櫻庭幹事より、資料に基づき、出版物販売状況について報告がなされた。H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会の講習会で、出版物の宣伝パワーポイントを表示する。レポート発売開始は講習会申込締切り後としている。販売部数が増えていない図書があり、絶版図書があれば連絡する。

14. 小委員会報告審議事項（資料 幹 7-15）

齋藤幹事より、資料に基づき、小委員会の一覧表について確認がなされた。H216 講習会、H109 と H221 の委員会名を修正する。そのほか修正事項等があれば齋藤幹事に連絡のこと。

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 7-16）

齋藤幹事より、資料に基づき活動状況の報告がなされた。次回複合構造委員会で、渡辺小委員会委員長より改訂の概要や進捗状況について報告をする予定である。必要な報告時間はあらためて齋藤幹事に連絡をする。委任状の期限が切れているので、幹事会構成のみとしている。執筆がはじまる段階で委員は再編成する。

(2) H108 土木構造物の 300 年暴露プロジェクト小委員会（資料 幹 7-17）

大久保幹事より、資料に基づき活動状況の報告がなされた。5/20(金)締切りで委員に報告書査読を依頼中である。朝霧屋外暴露場の使用や契約について 5/19(木)に土木研究所と打合せを予定している。

松本委員長より、活動期間の 1 年延長について説明があり、幹事から異論はなかった。来年度以降は、常設委員会とする予定である。

(3) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会（資料 幹 7-18）

齋藤幹事より、資料に基づき活動状況の報告がなされた。講習会を 9/21(月)に東工大で開催する予定である。受付（報告書配布など）の設置準備や通読対応の詳細説明について、川端幹事に確認する。

(4) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹 7-26-1, 幹 7-26-2）

仁平幹事より、資料に基づき活動状況の報告がなされた。講習会を 6/22(水)に開催する予定で、現時点の申込状況で講堂および WEB 参加ともに空きがある。

(5) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会（資料 幹 7-19）

橋本幹事より、資料に基づき活動状況の報告がなされた。第 2 期第 5 回小委員会を対面で 6 月～7 月に開催する予定である。

(6) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（資料 幹 7-20）

瀧本委員より、活動期間を12月末まで延長することについて説明があり、幹事から異論はなかった。
第2期を開始する際は、あらためて説明する。

15. 複合構造委員会第3回委員会議事次第（案）（資料 幹 7-22）

齋藤幹事長より、資料に基づき複合構造委員会第3回委員会議事次第（案）の説明がなされ、下記について確認した。

- ・6/23(木)に講堂とWeb併用で開催する。
- ・終了小委員会の活動成果報告は、H219床版取替における既設合成桁橋の設計・施工技術に関する研究小委員会で15分程度を予定している。H108土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会は、1年延長するため来年度とする。重点研究課題として終了したことを報告する。
- ・上田先生の土木学会功績賞受賞の報告は、報告事項の最後で予定する。

16. その他

(1) 複合構造委員会の規則・運営細則について（資料 幹 7-23）

齋藤幹事長より、資料に基づき複合構造委員会の規則・運営細則について説明がなされ、下記について確認した。

- ・運営細則に示方書や指針類の作成等に必要な特定課題を扱う150番台の小委員会と連絡幹事に関する記載がないため明文化する。
- ・150番台の小委員会成果報告は、他の第一種小委員会と異なることも合わせて記載する。
- ・複合構造委員会ホームページに「成果の公表に関する申し合わせ」が掲載されているので確認する。
- ・連絡幹事は任意ではなく、原則として置くこととする。
- ・齋藤幹事長にて上記方針に基づいて条文（案）を作成して、あらためて幹事会で確認する。

(2) 構造工学委員会【共通示方書】改定素案に対する意見（資料 幹 7-24）

齋藤幹事長より、資料に基づき共通示方書に対する意見提出について報告がなされた。

(3) 橋梁調査会 R4 年度「橋梁技術に関する研究開発助成」の募集（資料 幹 7-25）

齋藤幹事長より、資料に基づき「橋梁技術に関する研究開発助成」の募集について報告がなされた。

牧副委員長より、閉会の挨拶がなされた。

以上
(記録：皆田)